



## INDEX

### Numerics

- 10 ギガビットイーサネット ポート
  - ギガビットイーサネット SFP ポートの配置 6-11
- 10 ギガビットイーサネット ポートおよびギガビットイーサネット SFP ポートの配置 6-11
- 10 ギガビットイーサネット ポートおよびギガビットイーサネット ポートの WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への配置 6-12
- 10 ギガビットイーサネット ポートまたはギガビットイーサネット ポート
  - WS-X4606-10GE-E および Supervisor 6-E 6-12
- 10/100 自動ネゴシエーション機能、強制 6-17
- 1400 W DC SP トリプル入力電力装置
  - 特記事項 10-19
- 1400 W DC 電力装置
  - 特記事項 10-18
- 802.10 SAID (デフォルト) 13-5
- 802.1Q
  - 他の機能を備えたトンネル ポート 24-6
  - トランク 17-6
  - トンネリング
    - 説明 24-2
    - 他の機能との互換性 24-5
    - デフォルト 24-4
- 802.1Q VLAN
  - カプセル化 15-4
  - トランクの制約事項 15-6
- 802.1s
  - MST を参照
- 802.1w
  - MST を参照
- 802.1X
  - ポートベースの認証を参照
- 802.1X で許可ステートのポート 38-5
- 802.1X で無許可ステートのポート 38-5
- 802.1X 認証
  - MAC 認証バイパスに対する 38-10
  - RADIUS アカウンティング 38-16
  - VLAN 割り当て 38-8

- WoL 38-12
- 音声 VLAN ポート 38-19
- クリティカル認証に対する 38-12
- ゲスト VLAN 38-9
- ポート セキュリティ 38-15
- 802.3ad
  - LACP を参照
- A
- AAA 40-1
- ACE
  - ACL 43-2
  - IP 43-2
  - レイヤ 4 演算の制約事項 43-16
- ACE と ACL 40-1
- ACL
  - ACE 43-2
  - CPU への影響 43-18
  - IP、ポート ACL の一致基準 43-4
  - MAC 拡張 43-21
  - SPAN 46-6
  - Sup 6-E の TCAM プログラミング 43-16
  - Sup II-Plus から V-10GE の TCAM プログラミング 43-7
  - TCAM プログラミング アルゴリズム 43-8
  - TCAM プログラミング アルゴリズムの変更 43-9
  - TCAM リージョンのサイズ変更 43-11
  - VLAN マップ 43-5
  - VLAN マップでの設定 43-33
  - 同じスイッチでの互換性 43-3
  - 概要 43-2
  - 高 CPU のトラブルシューティング 43-12
  - サポートされるタイプ 43-3
  - 処理 43-18
  - スイッチド パケットへの適用 43-34
  - 制御パケットのキャプチャのモード選択 43-13

- ハードウェアおよびソフトウェアのサポート  
43-6
  - ポート
    - 音声 VLAN 43-5
    - 制限 43-5
    - 定義 43-3
  - ルータ ACL の一致基準 43-3
  - ルーテッド パケットへの適用 43-34
  - レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用  
43-24
  - ACL および VLAN マップ、例 43-27
  - ACL による高 CPU のトラブルシューティング  
43-12
  - ACL による高 CPU、トラブルシューティング  
43-12
  - ARP
    - 定義 4-32
    - テーブル
      - アドレス解決 4-32
      - 管理 4-32
  - Automatic QoS
    - QoS を参照
  - Auto-QoS
    - 設定 35-19
  - auto-sync コマンド 8-8
- B**
- b flash コマンド 54-3
  - b コマンド 54-3
  - BackboneFast
    - MST 17-26
    - STP も参照
    - 概要 20-16
    - サポートされていない MST 17-26
    - スイッチの追加 (図) 20-4
    - 設定 20-19
    - リンク障害 (図) 20-17, 20-18
  - BGP 1-10
    - Multi-VRF CE のルーティング セッション 34-8
  - boot bootldr コマンド 3-33
  - boot system flash コマンド 3-30
  - boot system コマンド 3-28, 3-33
  - boot コマンド 3-29
  - BPDU
    - 擬似ブリッジ 17-28
    - 内容 17-3
    - メディア速度 17-2
  - BPDU ガード
    - MST 17-26
    - 概要 20-9
    - 設定 20-19
- C**
- Catalyst 4500 スイッチでの電源管理の制限事項  
10-10
  - Catalyst 4500 スイッチの電源管理
    - 冗長モード 10-9
    - 複合モード 10-9
  - CDP
    - LLDP で定義 26-2
    - インターフェイス上でのイネーブル化 25-4
    - 概要 1-3, 25-2
    - コミュニティ内の自動検出 12-7
    - 信頼境界 35-28
    - 設定 25-3
    - 設定の表示 25-4
    - メンテナンス 25-4
    - モニタリング 25-4
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-8
  - cdp enable コマンド 25-4
  - CE デバイス 34-2
  - CEF
    - イネーブル化 30-7
    - および NSF/SSO 9-5
    - 概要 30-2
    - ソフトウェア スイッチング 30-4
    - 統計情報の表示 30-9
    - ハードウェア スイッチング 30-4
    - 隣接関係テーブル 30-2
    - ロードバランシング 30-6
    - ロード バランシングの設定 30-7
  - CFM
    - EtherChannel サポート 56-8, 57-5
    - EtherChannel ポート チャネル上 56-8
    - IP SLA ping またはジッタの手動による設定  
56-13
    - IP SLA サポート 56-7
    - IP SLA によるエンドポイント検出 56-15
    - SNMP トラップ 56-6
    - イーサネット OAM との相互作用 56-37
    - クロスチェック 56-6

- クロスチェックの設定 56-11
- 設定時の注意事項 56-8, 57-5
- 定義 56-2
- デフォルト設定 56-8
- ネットワーク パフォーマンスの測定 56-7
- ネットワークの設定 56-9
- メッセージの種類 56-6
- メンテナンス ドメイン 56-2
- メンテナンス ポイント 56-4
- モニタ 56-17
- CGMP
  - 概要 22-2
- channel-group group コマンド 21-8, 21-10
- Cisco 7600 シリーズ インターネット ルータ
  - SNMP のイネーブル化 55-5
- Cisco Discovery Protocol
  - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
  - CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
  - CGMP を参照
- Cisco IOS IP SLA 50-2
- Cisco IOS NSF 対応サポート 9-2
- Cisco IOS NSF 認識
  - サポート 9-2
- Cisco IP Phone
  - 音質 36-2
  - 設定 36-4
- CiscoWorks 2000 48-5
- CIST
  - 説明 17-26
- Class of Service
  - サービス クラス
    - CoS を参照
- class-map コマンド 35-36
- clear cdp counters コマンド 25-5
- clear cdp table コマンド 25-4
- clear counters コマンド 6-32
- clear ip eigrp neighbors コマンド 29-21
- clear ip flow stats コマンド 49-10
- CLI
  - 1 レベル後退 2-6
  - ROM モニタ 2-9
  - アクセス 2-2
  - 環境のモニタ 46-1
  - クラスタの管理 12-14
  - コマンドの取得 2-7
  - ソフトウェアの基礎知識 2-5
  - 履歴置換 2-4
  - モード 2-6
- Common and Internal Spanning-Tree
  - CIST を参照
- Common Spanning-Tree
  - CST を参照
- config-register コマンド 3-30
- configure terminal コマンド 3-9, 3-30, 6-3
- confreg コマンド 54-4
- Connectivity Fault Management
  - CFM を参照
- CoPP
  - 概要 40-2
  - コントロール プレーン コンフィギュレーション
    - モード
      - 設置 40-5
    - コントロール プレーン コンフィギュレーション
      - モードの開始 40-5
    - コントロール プレーンに QoS サービス ポリシー
      - を適用 40-5
  - 設定
    - MLS QoS のイネーブル化 40-5
    - サービス ポリシー マップ 40-5
    - トラフィックに一致する ACL 40-5
    - パケット分類基準 40-5
  - 統計情報のモニタリング 40-9
  - 表示
    - ダイナミック情報 40-9
    - 適合するバイトとパケットの数 40-9
    - 比率情報 40-9
- copy running-config startup-config コマンド 3-10
- copy system:running-config nvram:startup-config コマンド
  - 3-33
- CoS
  - Cisco IP Phone での変更 36-7
  - 図 35-2
  - 定義 35-4
  - プライオリティ 36-7
- CoS 値、インターフェイス用の設定 35-57
- CoS 転換
  - 設定 35-44
- CoS/DSCP マップ 35-62
- CPU ポートのスニッフィング 46-12
- CPU、ACL 処理の影響 43-18

- CST
- IST 17-25
  - MST 17-25
  - 説明 17-29
- D
- DBL
- グローバルに 35-30
  - 特定 CoS 値 35-32
  - 特定 IP DSCP 値 35-31
- DBL 経由の AQM、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-95
- DBL 経由のアクティブ キュー管理、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-95
- description コマンド 6-20
- dev コマンド 54-3
- DHCP オプション 82
- 概要 41-4
- DHCP スヌーピング
- イネーブル化 41-9
  - イネーブル化、およびオプション 82 41-11
  - エッジスイッチからの信頼できないパケットの受け入れ 41-11
  - オプション 82 データ挿入 41-4
  - 概要 41-2
  - 集約スイッチ上でのイネーブル化 41-11
  - 情報の表示 41-18
  - スヌーピング データベース エージェント 41-3
  - 設定 41-8
  - 設定の表示 41-18
  - データベース エージェントのイネーブル化 41-13
  - デフォルト設定 41-8
  - バインディング テーブルの表示 41-18
  - プライベート VLAN 上でのイネーブル化 41-13
  - メッセージの交換プロセス 41-5
  - モニタ 41-24
- DHCP スヌーピング データベース エージェント
- TFTP ファイルからの読み取り (例) 41-15
  - イネーブル化 (例) 41-14
  - 概要 41-3
  - データベースへの追加 (例) 41-17
- DHCP ベースの自動設定
- BOOTP に対する関係 3-3
  - 概要 3-2
- クライアントの要求メッセージの交換 3-3
- 設定
- DNS 3-5
  - TFTP サーバ 3-5
  - クライアント側 3-3
  - サーバ側 3-4
  - リレー装置 3-6
  - リース オプション
  - IP アドレス情報 3-4
  - コンフィギュレーション ファイルの受信 3-4
  - 例 3-7
- DiffServ アーキテクチャ、QoS 35-2
- DiffServ コード ポイント値
- DSCP 値を参照
- dir device コマンド 54-3
- disconnect コマンド 7-8
- DNS
- DHCP ベースの自動設定 3-5
  - 概要 4-16
  - 設定 4-17
  - 設定の表示 4-18
  - デフォルト設定 4-17
- Domain Name System
- DNS を参照
- DoS 攻撃
- IP アドレス スプーフィング、軽減 31-5
  - ユニキャスト RPF、展開 31-5
- DSCP 値
- IP precedence 35-2
  - 送信キューへのマッピング 35-59
  - 定義 35-4
  - マークダウンのマッピング 35-26
  - マップの設定 35-62
- DSCP 値、ポート値の設定 35-58
- DSCP マップ 35-62
- DSCP/CoS マップ
- 設定 35-64
- DTP
- VLAN トランク 15-4
- duplex コマンド 6-19
- Dynamic ARP Inspection
- ARP キャッシュのポイズニング 42-2
  - ARP パケットのレート制限 42-5
  - 設定 42-17
  - DoS 攻撃、防止 42-17

- インターフェイスの信頼状態、セキュリティ適用範囲 42-3
- 概要 42-2
- 確認検査、実行 42-20
- スタティック バインディングのプライオリティ 42-4
- 設定
  - DHCP 環境 42-6
  - 着信 ARP パケットのレート制限 42-17
  - 非 DHCP 環境の ACL 42-11
  - ログ バッファ 42-15
  - ドロップされたパケットのロギング 42-4
  - ポート チャンネル、その動作 42-5
  - 目的 42-3
  - ログ バッファ
    - 設定 42-15
- Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング
  - DHCP スヌーピングを参照
- Dynamic Trunking Protocol
  - DTP を参照
- E**
- E シリーズでの Enhanced PoE サポート 11-15
- EAP フレーム
  - Request/Identity 38-4
  - Response/Identity 38-4
  - 交換 (図) 38-5, 38-7, 38-11
  - 再送信回数の設定 38-48
  - 再送信時間の変更 38-47
- EAPOL フレーム
  - 802.1X 認証 38-3
  - OTP 認証、例 (図) 38-5, 38-11
  - 開始 38-4
- EGP
  - 概要 1-10
- EIGRP
  - 設定例 29-21
  - モニタリングおよびメンテナンス 29-21
  - eigrp stub コマンド 29-20
  - EIGRP スタブルルーティング、設定 29-15
  - EIGRP (Enhanced IGRP)
    - スタブルルーティング
      - 概要 29-16
      - 確認 29-20
      - 制約事項 29-20
    - 設定 29-16
    - 設定作業 29-20
    - 利点 29-20
- EIGRP (拡張 IGRP)
  - 概要 1-11
- ELIN ロケーション 26-3
- enable コマンド 3-9, 3-30
- Enhanced Interior Gateway Routing Protocol
  - EIGRP を参照
- EtherChannel
  - channel-group group コマンド 21-8, 21-10
  - interface port-channel コマンド 21-7
  - lacp system-priority
    - コマンド例 21-13
  - PAGP
    - 概要 21-4
    - port-channel load-balance コマンド 21-14
    - Virtual Switch System への表示 21-16
    - インターフェイスの削除 21-15
    - 概要 21-2
    - 削除 21-15
    - 設定 21-7, 21-15
    - 設定時の注意事項 21-6
    - 物理インターフェイスの設定 21-8
    - ポート チャンネル インターフェイス 21-2
    - モード 21-3
    - レイヤ 2 の設定 21-10
    - レイヤ 3 の設定 21-7
  - EtherChannel の Virtual Switch System への表示 21-16
- Explicit Host Tracking
  - イネーブル化 22-10
- Extensible Authentication Protocol over LAN 38-2
- Exterior Gateway Protocol
  - EGP を参照
- F**
- Fa0 ポート
  - イーサネット管理ポートを参照
- fastethernet0 ポート
  - イーサネット管理ポートを参照
- FIB
  - MFIB も参照
  - 説明 30-2

- Flex Link  
 VLAN ロード バランシング の設定 18-9  
 設定 18-7  
 設定時の注意事項 18-6  
 モニタリング 18-13  
 優先 VLAN の設定 18-10
- Flex Link での VLAN ロード バランシング 18-3  
 設定時の注意事項 18-6
- frame コマンド 54-7
- G**
- get-bulk-request 動作 48-4  
 get-next-request 動作 48-4, 48-5  
 get-request 動作 48-4, 48-5  
 get-response 動作 48-4
- H**
- hello タイム (STP)  
 設定 17-20
- Hot Standby Router Protocol  
 HSRP を参照
- HSRP  
 説明 1-9
- http  
 //www.cisco.com/en/US/products/ps6350/products\_configuration\_guide\_chapter09186a008042fbb3.html 1-9  
 //www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/software/ios124/124tcr/tcf\_r/index.htm 25-1, 47-1, 48-1, 51-1
- hw-module module num power コマンド 10-21
- I**
- i コマンド 54-3
- ICMP  
 IP traceroute の実行 7-10  
 ping 7-9  
 Time-Exceeded メッセージ 7-10  
 イネーブル化 7-14
- ICMP エコー動作  
 IP SLA 50-12  
 設定 50-12
- IDS  
 SPAN と RSPAN で使用 46-3
- IEEE 802.1ag 56-2
- IEEE 802.1s  
 MST を参照
- IEEE 802.1w  
 MST を参照
- IEEE 802.3ad  
 LACP を参照
- IEEE 802.3ah イーサネット OAM ディスカバリ 56-1
- IGMP  
 Explicit Host Tracking 22-4, 22-10  
 IGMP を参照  
 Leave タイマーの設定  
 イネーブル化 22-9  
 イネーブル化 32-15  
 概要 22-2  
 設定可能な Leave タイマー 22-4  
 説明 32-3  
 即時脱退処理 22-3  
 脱退処理、イネーブル化 23-10  
 レポート抑制  
 ディセーブル化 23-12
- IGMP グループ  
 最大数の設定 22-23
- IGMP スヌーピング  
 IP マルチキャスト 32-4  
 イネーブル化 22-6  
 イネーブル化およびディセーブル化 23-7  
 概要 22-2  
 設定時の注意事項 22-5  
 デフォルト設定 23-6, 23-7  
 モニタ 22-15, 23-13
- IGMP 即時脱退  
 設定時の注意事項 22-9
- IGMP フィルタリング  
 設定 22-20  
 説明 22-20  
 デフォルト設定 22-20  
 モニタ 22-25
- IGMP プロファイル  
 コンフィギュレーション モード 22-20  
 設定 22-21  
 適用 22-22

## IGRP

- 説明 1-11
- interface port-channel コマンド 21-7
- interface range macro コマンド 6-10
- interface range コマンド 6-5
- interface コマンド 3-9, 6-2
- Interior Gateway Routing Protocol
  - IGRP を参照
- Internet Control Message Protocol
  - ICMP を参照
- IP
  - スタティック ルートの設定 3-12
  - デフォルト ゲートウェイの設定 3-11
  - 統計情報の表示 30-9
  - フロー スイッチング キャッシュ 49-10
- ip cef コマンド 30-7
- IP Enhanced IGRP
  - インターフェイス、表示 29-21
- ip flow-aggregation cache destination-prefix コマンド 49-12
- ip flow-aggregation cache prefix コマンド 49-12
- ip flow-aggregation cache source-prefix コマンド 49-12
- ip flow-export コマンド 49-10
- ip icmp rate-limit unreachable コマンド 7-14
- ip igmp profile コマンド 22-20
- ip igmp snooping tcn flood query count コマンド 22-13
- ip igmp snooping tcn flood コマンド 22-12
- ip igmp snooping tcn query solicit コマンド 22-14
- ip load-sharing per-destination コマンド 30-8
- ip local policy route-map コマンド 33-5
- ip mask-reply コマンド 7-15
- IP MTU サイズ、設定 29-10
- ip multicast-routing コマンド 32-15
- IP Phone
  - Cisco IP Phone を参照
  - QoS の信頼境界 35-28
  - 音声ポートの設定 36-5
  - 自動分類およびキューイング 35-19
- ip pim dense-mode コマンド 32-15
- ip pim sparse-dense-mode コマンド 32-16
- ip pim コマンド 32-16
- ip policy route-map コマンド 33-5
- ip redirects コマンド 7-15
- ip route-cache flow コマンド 49-8
- IP Service Level Agreement
  - IP SLA を参照

## IP SLA

- CFM ping またはジッタの手動による設定 56-13
- CFM エンドポイント ディスカバリ 56-15
- ICMP エコー動作 50-12
- SNMP サポート 50-2
- UDP ジッタ動作 50-9
- 応答側
  - イネーブル化 50-8
  - 説明 50-4
- 応答時間 50-4
- コントロール プロトコル 50-4
- サポートされるメトリック 50-2
- しきい値のモニタリング 50-6
- スケジューリング 50-5
- 設定時の注意事項 50-7
- 定義 50-1
- デフォルト設定 50-7
- 動作 50-3
- ネットワーク パフォーマンスの測定 50-3
- 複数動作のスケジューリング 50-5
- モニタリング 50-15
- 利点 50-2
- IP traceroute
  - 概要 7-10
  - 実行 7-10
- ip unreachable コマンド 7-14
- IP アドレス
  - クラスタ コマンド スイッチ 12-12
  - クラスタの候補またはメンバ 12-13
  - 検出 4-32
- IP アンナンバード サポート
  - DHCP オプション 82 14-2
  - DHCP サーバとリレー エージェントでの LAN および VLAN インターフェイスに対する設定 14-4
  - イーサネット VLAN 範囲に対する設定 14-5
  - エージェント リモート ID サブオプションの形式 14-3
  - 接続したホストのポーリングでの 14-3
  - 接続したホストのポーリングでの設定 14-7
  - 設定の表示 14-8
  - トラブルシューティング 14-9
- IP 以外のトラフィックのフィルタリング 43-21
- IP サービス レベル、分析 50-1
- IP 情報
  - 割り当て

- DHCP ベースの自動設定 3-3
- IP ソース ガード
  - 概要 41-19
  - 設定 41-20
  - 表示 41-22, 41-24
  - プライベート VLAN 上での設定 41-21
- IP 統計情報
  - 表示 30-9
- IP マルチキャスト
  - Auto-RP、IGMP、PIM、RP、RPF も参照
  - IGMP スヌーピング 22-5, 32-4
  - PIM 情報の表示 32-23
    - 概要 32-2
    - 希薄モードのイネーブル化 32-16
    - サポートされない機能 32-13
    - 稠密モード PIM のイネーブル化 32-15
      - 設定 32-14
      - ソフトウェアによる転送 32-9
      - テーブルエントリの削除 32-28
      - デフォルト設定 32-14
      - ハードウェアによる転送 32-9
      - ルーティングテーブル情報の表示 32-24
      - ルーティングプロトコル 32-3
- IP マルチキャストルーティング
  - イネーブル化 32-15
  - モニタリングおよびメンテナンス 32-23
- IP ユニキャスト
  - 統計情報の表示 30-9
- IP ルーティング テーブル
  - エントリの削除 32-28
- IPX
  - EIGRP によるルート情報の再配布 1-11
- ISL
  - 802.1Q トンネリングによるトランキング 24-4
  - カプセル化 15-4
- ISSU
  - Cisco Feature Navigator を使用した互換性の検証 5-13
  - NSF の概要 5-3
  - SNMP サポート 5-13
  - SSO の概要 5-3
  - 互換性マトリクス 5-12
  - サポートするソフトウェアのバージョン許容範囲 5-11
  - 制約事項 5-2
  - 前提条件 5-2
  - プロセスの概要 5-6
  - プロセスの実行
    - ISSU ステータスの確認 5-17
    - 新しくスタンバイになったスーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-24
    - 互換性マトリクスの表示 5-28
    - 冗長モードの確認 5-15
    - スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-17
    - スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの切り替え 5-20
    - セーフガードとしてのロールバック タイマーの設定 5-27
    - ソフトウェア アップグレードの中断 5-26
    - ソフトウェア インストールの確認 5-14
    - ロールバック タイマーの停止 5-23
- IST
  - MST リージョンを参照 17-25
  - 説明 17-25
  - マスター 17-30
- L
  - l2protocol-tunnel コマンド 24-12
- LACP
  - システム ID 21-5
- Link Layer Discovery Protocol
  - CDP を参照
- LLDP
  - イネーブルおよびディセーブル インターフェイス上 26-6
  - グローバルに 26-5
  - 概要 26-2
  - 設定 26-4
    - デフォルト設定 26-4
    - 特性 26-4
  - 送信タイマーおよびホールドタイム、設定 26-4
  - モニタリングおよびメンテナンス 26-8
- LLDP Media Endpoint Discovery
  - LLDP-MED も参照
- LLDP-MED
  - 概要 26-2
  - サポートされる TLV 26-2
  - 設定
    - TLV 26-7



- 手順 26-4
- モニタリングおよびメンテナンス 26-8
- logoutwarning コマンド 7-7
- M**
- M ツリー 17-26
- M レコード 17-26
- MAC アドレス
  - ACL 43-21
  - DHCP スヌーピング バインディング テーブルでの表示 41-18
  - VLAN アソシエーション 4-22
  - エージング タイム 4-22
  - 検出 4-32
  - スタティック
    - 削除 4-29
    - 追加 4-29
    - 特性 4-28
    - ドロップ 4-30
    - 認可 4-30
  - スティッキ 39-5
  - スティッキ セキュア、追加 39-6
  - ダイナミック
    - 学習 4-21
    - 削除 4-23
  - ダイナミックからスティッキ セキュアへの変換 39-6
  - テーブルの作成 4-21, 15-3
  - デフォルト設定 4-22
  - 表示 4-31, 7-4
  - 割り当て 17-6
- MAC アドレステーブル移動更新
  - 設定 18-11
  - 設定時の注意事項 18-6
  - 説明 18-3
  - モニタリング 18-13
- MAC アドレスの限定 17-2
- MAC 拡張アクセス リスト 43-21
- MAC 認証バイパス
  - 802.1X による設定 38-35
- MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV 26-2
- main-cpu コマンド 8-8
- Maintenance End Point
  - MEP を参照
- Maintenance Intermediate Point
  - MIP を参照
- mask destination コマンド 49-12
- mask source コマンド 49-12
- match ip address コマンド 33-4
- MDA
  - 設定時の注意事項 38-20/38-21
  - 説明 38-20
- meminfo コマンド 54-7
- MEP
  - 定義 56-4
- Metro の機能
  - Flex Link および MAC アドレステーブル移動更新、概要 1-3
  - Y.1731 (AIS および RDI)、概要 1-8
  - イーサネット CFM、概要 1-3
  - イーサネット OAM プロトコル、概要 1-3
- MFIB
  - CEF 32-6
  - 概要 32-12
- MFIB、IP
  - 表示 32-26
- MIB
  - SNMP の相互作用 48-5
  - 概要 48-2
  - 関連情報 55-3
  - コンパイル 55-4
  - ダウンロード 55-3, 55-4
- MIB のコンパイル 55-4
- MIB のダウンロード 55-3, 55-4
- MIP
  - 定義 56-4
- MLD Done メッセージおよび即時脱退 23-4
- MLD クエリー 23-3
- MLD スヌーピング
  - MLD Done メッセージおよび即時脱退 23-4
  - MLD クエリー 23-3
  - MLD メッセージ 23-3
  - MLD レポート 23-4
  - 概要 23-2
  - マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 23-3
  - マルチキャスト ルータ検出 23-3
- MLD メッセージ 23-3
- MLD レポート 23-4
- MST
  - BPDU 17-26

- PVST+ とのインターオペラビリティ 17-26
- SST とのインターオペラビリティ 17-28
- イネーブル化 17-34
- インスタンス
  - サポートされる数 17-29
  - 説明 17-26
  - パラメータの設定 17-37
- エッジポート 17-30
- 境界ポート 17-30
- コンフィギュレーション パラメータ 17-29
- 制約事項 17-33
- 設定 17-34
- 設定の表示 17-38
- 複数のスパニング ツリー 1-4, 17-25
- ホップ カウント 17-31
- マスター 17-30
- メッセージ エージ 17-31
- リージョン 17-29
- リンク タイプ 17-31
- MSTP
  - M ツリー 17-26
  - M レコード 17-26
- MTU
  - 概要 6-24
- MTU サイズ
  - 設定 6-25, 6-27, 6-34, 6-35
  - デフォルト 13-5
- Multiple Spanning-Tree
  - MST を参照
- Multi-VRF CE
  - コンポーネント 34-3
  - 設定例 34-9
  - 定義 34-1
  - デフォルト設定 34-4
  - ネットワーク コンポーネント 34-3
  - パケット転送プロセス 34-3
  - 表示 34-13
  - モニタ 34-13
- N
- NetFlow
  - destination-prefix 集約
    - 最小マスク、設定 49-12
    - 設定 (例) 49-18
- IP
  - フロー スイッチング キャッシュ 49-10
- prefix 集約
  - 最小マスク、設定 49-12
  - 設定 (例) 49-16
- source-prefix 集約
  - 最小マスク、設定 49-12
- 集約
  - 最小マスク、デフォルト値 49-11
- スイッチング
  - キャッシュ エントリのエクスポート 49-10
  - 収集のイネーブル化 49-8
  - スイッチド IP フローの設定 49-8
  - 設定 (例) 49-14
  - 統計情報 49-10
  - 必要なハードウェアの確認 49-7
- NetFlow 統計情報
  - キャッシュ エントリのエクスポート 49-10
  - 収集機能の概要 49-2
  - 収集機能の設定 49-7
  - 収集のイネーブル化 49-8
  - スイッチド/ブリッジド IP フロー 49-8
  - スーパーバイザの注意事項 49-7
  - 必要なハードウェアの確認 49-7
- Network Assistant
  - CLI コマンドの概要 12-3
  - VTY 12-13
  - 設定する
    - スイッチとの通信を可能にする 12-14, 12-18
  - デフォルト設定 12-2
- Network Time Protocol
  - NTP を参照
- Next Hop Resolution Protocol
  - NHRP を参照
- NFFC/NFFC II
  - IGMP スヌーピング 22-5
- NHRP
  - サポート 1-11
- Nonstop Forwarding
  - NSF を参照
- NSF
  - 注意事項および制約事項 9-10
  - 定義 9-1
  - 動作 9-5

- NSF 対応
  - サポート 9-2
  - スーパーバイザ エンジン 9-4
- NSF 認識
  - サポート 9-2
  - スーパーバイザ エンジン 9-3
- NSF/SSO スーパーバイザ エンジンの冗長構成
  - SSO の動作 9-4
  - および CEF 9-5
  - 概要 9-4
- NTP
  - アクセスの制限
    - アクセス グループの作成 4-10
    - インターフェイス単位での NTP サービスの  
ディセーブル化 4-11
  - アソシエーション
    - サーバ 4-6
    - 定義 4-3
    - 認証 4-5
    - ピア 4-6
    - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化  
4-8
  - 概要 4-2
  - 時刻
    - サービス 4-3
    - 同期化 4-2
  - ストラタム 4-3
  - 設定の表示 4-12
  - 送信元 IP アドレス、設定 4-11
  - デバイスの同期化 4-6
  - デフォルト設定 4-5
- NVRAM
  - 設定値の保存 3-10
- O
- OAM
  - 機能 56-20
  - クライアント 56-20
  - サブレイヤ 56-20
- OAM PDU 56-22
- OAM プロトコル データ ユニット 56-20
- OAM マネージャ
  - CFM およびイーサネット OAM 56-37
- OIR
  - 概要 6-31
- Open Shortest Path First
  - OSPF を参照
- OSPF
  - エリア概念 1-12
  - 説明 1-12
- P
- PACL、アクセス グループ モードとの併用 43-37
- PAgP
  - 概要 21-4
- PBR (ポリシーベース ルーティング)
  - イネーブル化 33-4
  - 概要 33-2
  - 機能 33-2
  - 使用 33-3
  - 設定 (例) 33-7
  - ルート マップ 33-2
- PE から CE のルーティング、設定 34-8
- PE デバイス 34-2
- per-Port per-VLAN QoS
  - イネーブル化 35-52
  - 概要 35-17
- Per-VLAN Rapid Spanning-Tree 17-7
  - イネーブル化 17-23
  - 概要 17-7
- PIM
  - 概要 32-3
  - 希薄 / 稠密モードのイネーブル化 32-16
  - 希薄モードの設定 32-16
  - 稠密モードの設定 32-15
  - 情報の表示 32-23
  - 統計情報の表示 32-28
- PIM-DM 32-4
- PIM-SM 32-4
- PIM-SSM マッピング、イネーブル化 32-17
- ping
  - 概要 7-9
  - 実行 7-9
- ping コマンド 7-9, 32-23
- PoE 11-11
  - E シリーズでの Enhanced PoE サポート 11-15
  - インターフェイス ステータスの表示 11-9
  - 受電装置の電力消費量
    - インテリジェントな電源管理 11-5
    - 概要 11-6

- サポートされているケーブル接続トポロジ  
11-8
  - スイッチの電力消費量の設定 11-6
  - 単一デバイスの電力消費量の設定 11-7
  - 電源管理モード 11-3
  - モジュールの電源切断 10-21
  - police コマンド 35-40
  - policy-map コマンド 35-36, 35-38
  - Port Aggregation Protocol
    - PAgP を参照
  - port-channel load-balance
    - コマンド 21-13
    - コマンド例 21-13
  - port-channel load-balance コマンド 21-14
  - PortFast
    - BPDU フィルタ、設定 20-11
    - MST 17-26
    - 概要 20-7
    - 設定またはイネーブル化 20-19
  - PortFast BPDU フィルタリング
    - MST 17-26
    - イネーブル化 20-11
    - 概要 20-10
  - power dc input コマンド 10-18
  - power inline consumption コマンド 11-6, 11-7
  - power inline コマンド 11-4
  - power redundancy-mode コマンド 10-12
  - PVACL 41-19
  - PVID (ポート VLAN ID)
    - 音声 VLAN ポートを使用した 802.1X 38-19
  - PVLAN
    - 802.1Q サポート 37-13
    - VLAN の設定 37-14
    - 概要 37-1
    - 混合モード ポートの設定 37-16
    - 設定 37-11
      - インターフェイス モード 37-23
    - 設定時の注意事項 37-12
    - 複数のスイッチ 37-6
    - ポートセキュリティを設定 39-16, 39-18, 39-20
    - ホスト ポート
      - 設定 37-23
        - レイヤ 2 インターフェイスの設定 37-17
    - 無差別モード
      - 設定 37-23
    - ルーティングの許可、例 37-22
  - レイヤ 2 EtherChannel でのポート セキュリティの  
設定 39-36
  - ワイヤレス環境でポート セキュリティを設定  
39-35
  - PVLAN 混合モード トランク ポート  
設定 37-2, 37-16, 37-20
- ## Q
- ### QoS
- Auto-QoS
    - NVRAM 設定の影響 35-21
    - VoIP に対するイネーブル化 35-21
    - 設定およびデフォルトの表示 35-22
    - 設定時の注意事項 35-21
    - 説明 35-19
    - 表示 35-22
  - CoS、DSCP 値、送信キューも参照
  - IP Phone
    - 検出および trusted 設定 35-19, 35-28
    - 自動分類およびキューイング 35-19
  - PVQoS のイネーブル化 35-52
  - PVQoS の概要 35-17
  - UBRL の設定 35-45
  - VLAN ベース 35-55
  - イネーブル化およびディセーブル化 35-55
  - インターフェイス上でのイネーブル化 35-43
  - インターフェイス上でのディセーブル化  
35-43
  - 階層型ポリサーのイネーブル化 35-50
  - 概要 35-2
  - 基本モデル 35-5
  - 信頼状態
    - 信頼できるデバイス 35-27
  - 設定
    - Auto-QoS 35-19
    - DBL 35-29
    - DSCP マップ 35-62
    - 信頼境界 35-27
    - トラフィック シェーピング 35-61
    - 設定時の注意事項 35-26
      - Auto-QoS 35-21
    - 送信レート 35-61
    - ソフトウェア処理されるパケット 35-17
    - 帯域幅の割り当て 35-60
    - 定義 35-3

- デフォルト設定 35-25
- デフォルトの自動設定 35-19
- トラフィック シェーピング 35-17
- 名前付き集約ポリサーの作成 35-33
- バースト サイズ 35-34
- パケットの変更 35-17
- プライオリティ 35-16
- フローチャート 35-8, 35-13
- 分類 35-6?35-10
- ポートベース 35-55
- ポリシング ルールの作成 35-35
- レイヤ 2 インターフェイス上での VLAN ベースの設定 35-55
- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、概要 35-65
- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、機能の相互作用 35-69
- レイヤ 2 制御パケット QoS の設定、注意事項 35-69
- QoS アクティブ キュー管理
  - キュー長の追跡 35-15
- QoS サービス ポリシー
  - 前提条件 35-76
  - 適用に関する制約事項 35-76
- QoS の信頼境界 35-27
- QoS の送信キュー
  - DHCP 値のマッピング 35-59
  - 概要 35-15
  - 最大速度 35-17
  - 帯域幅の割り当て 35-60
  - トラフィック シェーピングの設定 35-61
  - バースト 35-17
  - リンク帯域幅の共有 35-16
- QoS の送信キュー、設定 35-59
- QoS のマーキング
  - 説明 35-5
- QoS のマッピング テーブル
  - CoS/DSCP 35-62
  - DSCP/CoS 35-64
  - タイプ 35-14
  - ポリシング済み DSCP 35-63
- QoS ポリサー
  - 種類 35-10
  - バースト サイズ 35-34
- QoS ポリシー
  - インターフェイスへの付加 35-12
  - 設定の概要 35-35
- QoS ポリシング
  - 説明 35-5, 35-10
  - 定義 35-5
- QoS ラベル
  - 定義 35-4
- R
- RADIUS サーバ
  - スイッチ上のパラメータ 38-26
  - スイッチとの通信設定 38-26
  - 設定値の設定 38-28
- range macro
  - 定義 6-10
- range コマンド 6-5
- Rapid Spanning-Tree
  - RSTP を参照
- rcommand コマンド 12-14
- Release 7.7 の新しいソフトウェア機能
  - TDR 7-5
- reload コマンド 3-30, 3-31
- REP
  - MST 19-6
  - SNMP トラップ、設定 19-14
  - VLAN ブロッキング 19-13
  - VLAN ロード バランシング 19-4
  - VLAN ロード バランシングのトリガー 19-5
  - インターフェイスの設定 19-9
  - オープン セグメント 19-2
  - 管理 VLAN 19-8
  - 管理 VLAN、設定 19-8
  - コンバージェンス 19-4
  - サポートされているインターフェイス 19-2
  - 手動によるプリエンブション、設定 19-13
  - セカンダリ エッジポート 19-4
  - セグメント 19-2
    - 特性 19-3
  - 設定時の注意事項 19-7
  - デフォルト設定 19-7
  - ネイバー オフセット番号 19-4
  - プライマリ エッジポート 19-4
  - プリエンブト遅延時間 19-5
  - ポート 19-6
  - モニタ 19-15
  - リング セグメント 19-2
  - リンク完全性の確認 19-3

- reset コマンド 54-3
- Resilient Ethernet Protocol。REP を参照
- RFC
  - 1157、SNMPv1 48-2
  - 1901、SNMPv2C 48-2
  - 1305、NTP 4-2
  - 1757、RMON 51-3
  - 1902～1907、SNMPv2 48-2
  - 2273～2275、SNMPv3 48-2
- RIP
  - 説明 1-12
- RMON
  - アラームとイベントのイネーブル化 51-4
  - 概要 51-2
  - サポートされるグループ 51-3
  - ステータスの表示 51-8
  - デフォルト設定 51-4
- ROM モニタ
  - CLI 2-9
  - 概要 54-1
  - コマンド 54-2?54-3
  - 終了 54-8
  - 設置 54-2
  - デバッグコマンド 54-7
  - ブートプロセス 3-27
- route-map (IP) コマンド 33-4
- Routing Information Protocol
  - RIP を参照
- RPF
  - IP ユニキャストを参照
- RP、設定 32-17
- RP、単一スタティックの設定 32-21
- RSPAN
  - IDS 46-3
  - VLAN ベース 46-6
  - 宛先ポート 46-5
  - 受信したトラフィック 46-4
  - セッション
    - VLAN のモニタ 46-26
    - 作成 46-21
    - 送信元 (モニタ対象) ポートの削除 46-25
    - 定義 46-3
    - 特定の VLAN に送信元トラフィックを制限 46-28
    - モニタ対象ポートの指定 46-21
  - 設定時の注意事項 46-20
  - 送信されたトラフィック 46-4
  - 送信元ポート 46-5
  - モニタ対象ポート 46-5
  - モニタリングポート 46-5
- RSTP
  - 互換性 17-26
  - 説明 17-25
  - ポートステート 17-27
  - ポートの役割 17-27
- S
  - SAID
    - 802.10 SAID を参照
  - Security Association Identifier
    - 802.10 SAID を参照
  - service-policy input コマンド 28-2, 35-43
  - service-policy コマンド 35-36
  - set default interface コマンド 33-4, 33-5
  - set interface コマンド 33-4
  - set ip default next-hop コマンド 33-4
  - set ip next-hop コマンド 33-4
  - set-request 動作 48-5
  - show adjacency コマンド 30-10
  - show boot コマンド 3-33
  - show catalyst4000 chassis-mac-address コマンド 17-3
  - show cdp entry コマンド 25-4
  - show cdp interface コマンド 25-4
  - show cdp neighbors コマンド 25-5
  - show cdp traffic コマンド 25-5
  - show cdp コマンド 25-3, 25-4
  - show ciscoview package コマンド 4-36
  - show ciscoview version コマンド 4-36
  - show cluster members コマンド 12-14
  - show configuration コマンド 6-20
  - show debugging コマンド 25-5
  - show environment コマンド 10-2
  - show history コマンド 2-4
  - show interfaces status コマンド 7-3
  - show interfaces コマンド 6-25, 6-27, 6-32, 6-34, 6-35
  - show ip cache flow aggregation destination-prefix コマンド 49-12
  - show ip cache flow aggregation prefix コマンド 49-12
  - show ip cache flow aggregation source-prefix コマンド 49-12
  - show ip cache flow コマンド 49-10

- show ip cef コマンド 30-8
- show ip eigrp interfaces コマンド 29-21
- show ip eigrp neighbors コマンド 29-21
- show ip eigrp topology コマンド 29-21
- show ip eigrp traffic コマンド 29-21
- show ip interface コマンド 32-23
- show ip local policy コマンド 33-5
- show ip mroute コマンド 32-23
- show ip pim interface コマンド 32-23
- show l2protocol コマンド 24-13
- show lldp traffic コマンド 26-8
- show mac-address-table address コマンド 7-4
- show mac-address-table interface コマンド 7-4
- show mls entry コマンド 30-9
- show module コマンド 7-2, 17-6
- show power inline consumption コマンド 11-6
- show power inline コマンド 11-9
- show power supplies コマンド 10-12
- show protocols コマンド 6-32
- show running-config コマンド
  - ACL の表示 43-26, 43-29, 43-37, 43-38
  - インターフェイスの記述の追加 6-20
  - 設定の確認 3-10
- show startup-config コマンド 3-11
- show users コマンド 7-8
- show version コマンド 3-31
- shutdown、コマンド 6-33
- Single Spanning-Tree
  - SST を参照
- SmartPort マクロ
  - グローバルパラメータ値の適用 16-9
  - 作成 16-8
  - 設定 16-3
  - 設定時の注意事項 16-6
  - 定義 16-2
  - デフォルト設定 16-4
  - トレース 16-7
  - パラメータ値の適用 16-10
  - 表示 16-15
  - マクロの適用 16-9
- SNMP
  - MIB 変数にアクセス 48-5
  - TFTP サーバによるアクセスの限定 48-15
  - イネーブル化 55-5
  - インフォーム
    - inform および trap キーワード 48-11
    - イネーブル化 48-15
    - 説明 48-5
    - トラップとの違い 48-5
  - エージェント
    - 説明 48-4
    - ディセーブル化 48-7
  - エンジン ID 48-6
  - および IP SLA 50-2
  - 概要 48-2, 48-5
  - グループ 48-6, 48-9
  - コミュニティストリング
    - 概要 48-4
    - 設定 48-7
  - サポートされるバージョン 48-2
  - システムログメッセージを NMS に限定 47-10
  - システムの連絡先と設置場所 48-15
  - ステータス、表示 48-18
  - 設定時の注意事項 48-6
  - 設定例 48-16
  - 通知 48-5
  - デフォルト設定 48-6
  - トラップ
    - MAC アドレス通知のイネーブル化 4-23
    - MAC 移動通知のイネーブル化 4-26
    - MAC しきい値通知のイネーブル化 4-27
    - イネーブル化 48-11
    - 概要 48-2, 48-5
    - 種類 48-11
    - 情報との違い 48-5
    - 説明 48-4, 48-5
    - トラップ マネージャ、設定 48-13
  - 認証レベル 48-10
  - ホスト 48-6
  - マネージャ機能 48-4
  - ユーザ 48-6, 48-9
- SNMP コマンド 55-5
- SNMP トラップ
  - REP 19-14
- SNMP トラップ、CFM 56-6
- SNMP のイネーブル化 55-5
- SNMPv1 48-3
- SNMPv2C 48-3
- SNMPv3 48-3
- SPAN
  - ACL 46-6
  - IDS 46-3

- VLAN ベース 46-6
- 宛先ポート 46-5
- 受信したトラフィック 46-4
- セッション
  - 定義 46-3
- 設定 46-8?46-11
- 設定時の注意事項 46-8
- 送信されたトラフィック 46-4
- 送信元ポート 46-5
- モニタ対象ポート、定義 46-5
- モニタリング ポート、定義 46-5
- SPAN 拡張機能
  - CPU ポートのスニッフィング 46-12
  - アクセスリスト フィルタリング 46-16
  - カプセル化の設定 46-14
  - 設定例 46-19
  - 入力パケット 46-14
  - パケットタイプ フィルタリング 46-18
- SPAN と RSPAN
  - 概念と用語 46-3
  - 概要 46-2
  - ステータスの表示 46-30
  - セッション限度 46-6
  - デフォルト設定 46-7
- spanning-tree backbonefast コマンド 20-19
- spanning-tree cost コマンド 17-18
- spanning-tree guard root コマンド 20-3
- spanning-tree portfast bpdu-guard コマンド 20-9
- spanning-tree portfast コマンド 20-8
- spanning-tree port-priority コマンド 17-16
- spanning-tree uplinkfast コマンド 20-14
- spanning-tree vlan
  - コマンド 17-10
  - コマンド例 17-11
- spanning-tree vlan cost コマンド 17-19
- spanning-tree vlan forward-time コマンド 17-22
- spanning-tree vlan hello-time コマンド 17-21
- spanning-tree vlan max-age コマンド 17-21
- spanning-tree vlan port-priority コマンド 17-16
- spanning-tree vlan priority コマンド 17-20
- spanning-tree vlan root primary コマンド 17-12
- spanning-tree vlan root secondary コマンド 17-15
- spanning-tree vlan コマンド 17-9
- speed コマンド 6-18
- SSO
  - 設定 9-11
- SSO の動作 9-4
- SST
  - インターオペラビリティ 17-28
  - 説明 17-25
- STP
  - hello タイム 17-20
  - Per-VLAN Rapid Spanning-Tree 17-7
  - PVRST のイネーブル化 17-23
  - REP 19-6
  - イネーブル化 17-9
  - 概要 17-2, 17-3
  - 拡張システム ID のイネーブル化 17-10
  - 最大エージング タイム 17-21
  - 設定 17-9?17-23
  - ディセーブル化 17-23
  - デフォルト 17-8
  - 転送遅延時間 17-22
  - トポロジの作成 17-5
  - ブリッジ ID 17-2
  - ポート コスト 17-18
  - ポート プライオリティ 17-15
  - ルートブリッジ 17-11
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-8
- Sup 6-E の TCAM プログラミングと ACL 43-16
- Supervisor Engine 6-E システムの緊急アラーム 10-4
- Supervisor Engine 6-E での QoS
  - DBL 経由の AQM 35-95
  - DBL 経由のアクティブ キュー管理 35-88, 35-95
  - MQC ベースの QoS の設定 35-73
  - アクション ドライバのマーキング 35-81
  - 階層型ポリシー 35-97
  - キュー制限 35-93
  - 共有 (帯域幅) 35-88
  - 共有 (帯域幅)、シェーピング、およびプライオリティ キュー 35-85
  - 高レベル モデル 35-74
  - サービス ポリシーの適用に関する制約事項 35-76
  - サービス ポリシーを適用するための前提条件 35-76
  - シェーピング 35-86
  - 設定 35-73
  - ソフトウェア QoS 35-100
  - トラフィック マーキング手順のフローチャート 35-82



- ネットワーク トラフィックのマーキング 35-78
  - プライオリティ キュー 35-91
  - プラットフォーム ハードウェアの機能 35-76
  - プラットフォームでサポートされる分類基準および QoS 機能 35-73, 35-75
  - プラットフォームの制約事項 35-78
  - 分類 35-76
  - ポリシー マップ マーキング アクションの設定 35-83
  - ポリシーの関連付け 35-99
  - ポリシング 35-77
  - ポリシングの実装方法 35-78
  - マーキング用のハードウェア機能 35-83
  - マルチアトリビュート マーキングのサポート 35-83
  - Supervisor Engine II-TS
    - 不十分なインラインパワーの処理 10-19, 11-14
  - Supervisor Engine II-TS に対する電力処理 11-14
  - Supervisor Engine II-TS に対する不十分なインラインパワーの処理 10-19
  - Supervisor Engine V-10GE の POST 52-9
  - SVI 自動ステート除外
    - 概要 29-3
    - 設定 29-9
  - Switched Port Analyzer
    - SPAN を参照
  - switchport access vlan コマンド 15-8, 15-10
  - switchport block multicast コマンド 44-2
  - switchport block unicast コマンド 44-2
  - switchport mode access コマンド 15-10
  - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 24-6
  - switchport mode dynamic コマンド 15-7
  - switchport mode trunk コマンド 15-7
  - switchport trunk allowed vlan コマンド 15-8
  - switchport trunk encapsulation dot1q コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation isl コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation negotiate コマンド 15-4
  - switchport trunk encapsulation コマンド 15-7
  - switchport trunk native vlan コマンド 15-8
  - switchport trunk pruning vlan コマンド 15-8
  - sysret コマンド 54-7
- T**
- TACACS+ 40-1
    - アカウントティング、定義 3-17
  - 概要 3-16
  - サーバの特定 3-19
  - 設定
    - アカウントティング 3-23
    - 認可 3-22
    - 認証キー 3-19
    - ログイン認証 3-20
  - 設定の表示 3-23
  - デフォルト設定 3-19
  - 動作 3-18
  - 認可、定義 3-17
  - 認証、定義 3-17
  - ユーザがアクセスしたサービスの追跡 3-23
  - ユーザへのサービスの制限 3-22
  - TCAM プログラミング アルゴリズム
    - 変更 43-9
  - TCAM プログラミング アルゴリズム、概要 43-8
  - TCAM プログラミング および ACL 43-11, 43-13
    - Sup II-Plus から V-10GE 43-7
  - TCAM リージョン、アルゴリズムの変更 43-9
  - TCAM リージョン、サイズ変更 43-11
  - TCN 処理
    - MLD スヌーピング
    - TCN 処理 23-5
  - TDR
    - ケーブル接続の確認 7-5
    - 注意事項 7-5
    - テストのイネーブル化およびディセーブル化 7-5
  - Telnet
    - CLI アクセス 2-2
    - 実行 7-7
    - ユーザ セッションの切断 7-8
    - ユーザ セッションのモニタリング 7-8
  - telnet コマンド 7-7
  - Terminal Access Controller Access Control System Plus
    - TACACS+ を参照
  - TFTP
    - サーバによるアクセスの限定 48-15
    - 自動設定の設定 3-5
    - ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファイル 3-5
  - TFTP ダウンロード
    - コンソール ダウンロードも参照
  - Time Domain Reflectometer
    - TDR を参照
  - Time-Exceeded メッセージ 7-10

- TLV
- LLDP-MED 26-2
  - 定義 1-4, 26-2
- ToS
- 説明 35-4
- trace コマンド 7-10
- traceroute
- IP traceroute を参照
  - レイヤ 2 traceroute を参照
- traceroute mac ip コマンド 7-12
- traceroute mac コマンド 7-12
- TwinGig コンバータ
- X2/TwinGig コンバータ モードの選択 6-13
  - 使用時の制限事項 6-13
  - ポート番号設定 6-12
- TwinGig コンバータ使用時の制限事項 6-13
- TwinGig コンバータによるポート番号設定 6-12
- Type of Service
- タイプ オブ サービス
  - ToS を参照
- U
- UDLD
- イネーブル化 27-4
  - 概要 27-2
  - ディセーブル化 27-5
  - デフォルト設定 27-3
- UDP ジッタ動作、IP SLA 50-9
- UDP ジッタ、設定 50-9
- UniDirectional Link Detection Protocol
- UDLD を参照
- UNIX Syslog サーバ
- サポートされるファシリティ 47-13
  - デーモンの設定 47-11
  - メッセージ ロギング情報 47-12
- UplinkFast
- MST 17-26
  - イネーブル化 20-19
  - 概要 20-13
- User Based Rate Limiting
- 概要 35-45
  - 設定 35-46
- V
- VACL
- レイヤ 4 ポート演算 43-16
- Virtual Switch System (VSS)、EtherChannel の表示 21-16
- VLAN
- ID (デフォルト) 13-5
  - PVLAN も参照
  - RSPAN による送信元トラフィックの制限 46-28
  - RSPAN によるモニタ 46-26
  - インターフェイスの割り当て 13-7
  - 概要 13-2
  - 拡張範囲 13-3
  - サービス プロバイダー ネットワークのカスタマー番号 24-3
  - 設定 13-5
  - 設定時の注意事項 13-3
  - 説明 1-7
  - デフォルト設定 13-5
  - トランク上で許容 15-8
  - 名前 (デフォルト) 13-5
  - 標準範囲 13-3
  - 予約範囲 13-3
- VLAN ACL
- VLAN マップを参照
- vlan dot1q tag native コマンド 24-4
- VLAN ID、検出 4-32
- VLAN Trunking Protocol
- VTP を参照
- vlan コマンド 13-6
- VLAN トランク
- 概要 15-3
- VLAN ブロッキング、REP 19-13
- VLAN マップ
- VLAN への適用 43-29
  - アクセス拒否の例 43-31
  - エントリの作成および削除 43-26
  - エントリの順序 43-26
  - 使用 (図) 43-5
  - 設定 43-25
  - 設定時の注意事項 43-26
  - 設定例 43-30
  - 定義 43-3
  - ネットワークの使用 43-29
  - パケットの許可 43-27

- パケットの拒否 43-27
- 表示 43-32
- ルータ ACL 43-33
- VLAN マップおよびルータ ACL との PACL 43-40
- VLAN マップの設定 43-25
- VLAN マップ、PACL およびルータ ACL 43-40
- VLAN メンバシップ ポリシー サーバ
  - VMPS を参照
- VLAN ロード バランシング
  - REP 19-4
- VLAN ロード バランシング、トリガー 19-5
- VMPS
  - クライアントでのダイナミック アクセス ポート
    - の設定 13-23
  - コンフィギュレーション ファイルの例 13-30
  - サーバの概要 13-18
  - 再試行間隔の設定 13-24
  - ダイナミック ポート メンバシップ
    - 再確認 13-23, 13-24
    - 例 13-26
  - データベース コンフィギュレーション ファイル
    - 13-30
  - メンバシップの再確認間隔 13-24
  - 割り当ての再確認 13-23
- VMPS クライアント
  - 管理およびモニタリング 13-25
  - スイッチの設定
    - IP VMPS アドレスの入力 13-21
    - VLAN メンバシップの再確認 13-23
    - 再確認間隔 13-24
    - 再確認間隔の設定 13-24
    - ダイナミック ポート 13-23
  - ダイナミック VLAN メンバシップの概要
    - 13-21
  - ダイナミック ポート VLAN メンバシップのトラ
    - ブルシューティング 13-26
  - デフォルト設定 13-21
- VMPS サーバ
  - 概要 13-18
  - セキュリティ モード
    - multiple 13-20
    - open 13-19
    - セキュア 13-19
  - 代替 VLAN 13-20
  - 不正な VMPS クライアント要求 13-20
- Voice over IP
  - 設定 36-2
- VPN
  - サービス プロバイダー ネットワーク内 34-1
  - 転送 34-3
  - ルーティング / 転送テーブル
    - VRF を参照
  - ルーティングの設定 34-7
  - ルート 34-2
- VRF
  - 定義 34-3
  - テーブル 34-1
- VTP
  - VTP バージョン 2 も参照
  - 概要 13-8
  - 設定 13-13?13-17
  - 設定時の注意事項 13-12
  - ディセーブル化 13-16
  - デフォルト設定 13-12
  - トランスペアレント モードの設定 13-16
  - モニタ 13-16
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-8
- VTP アドバタイズ
  - 説明 13-9
- VTP クライアント
  - 設定 13-15
- VTP サーバ
  - 設定 13-14
- VTP 統計情報
  - 表示 13-16
- VTP ドメイン
  - 説明 13-8
- VTP バージョン 2
  - VTP も参照
  - イネーブル化 13-14
  - 概要 13-10
- VTP プルーニング
  - イネーブル化 13-13
  - 概要 13-10
- VTP モード 13-9
- VTY と Network Assistant 12-13
- VVID (音声 VLAN ID)
  - 802.1X 認証 38-19
  - 設定 36-5

- W
- WCCP
- 機能 53-4
  - サービス グループ 53-7
  - 制約事項 53-6
  - 設定例 53-11
  - ルータに設定 53-2, 53-12
- Web Cache Communication Protocol
- WCCP を参照
- WoL
- 802.1X による設定 38-40
- X
- X2/TwinGig コンバータ モードの選択 6-13
- あ
- アカウンティング
- 802.1X の設定 38-32
  - TACACS+ 3-17, 3-23
- アクション ドライバのマーキング 35-81
- アクション ドライバ、マーキング 35-81
- アクセス VLAN 15-8
- アクセス グループ モードの PACL との併用 43-37
- アクセス グループ モード、PACL との併用 43-37
- アクセス グループ モード、レイヤ 2 インターフェイス上での設定 43-38
- アクセス コントロール エントリ
- ACE を参照
- アクセス コントロール エントリとリスト 40-1
- アクセス ポート
- 設定 15-10
  - ポートセキュリティを設定 39-8, 39-25
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-10
- アクセス リスト
- WCCP での使用 53-9
- アクセス リスト フィルタリング 拡張機能 46-16
- アクセスの制限
- NTP サービス 4-9
  - TACACS+ 3-16
- アクティブ キュー管理 35-15
- アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA 50-1
- アドバタイズメント
- LLDP 1-4, 26-2
- アドバタイズ、VTP
- VTP アドバタイズを参照
- アドレス
- MAC アドレス テーブルの表示 4-31
  - MAC アドレスを参照
  - MAC、検出 4-32
  - スタティック
    - 追加および削除 4-28
    - 定義 4-21
  - ダイナミック
    - エージング タイムの変更 4-22
    - 学習 4-21
    - 削除 4-23
    - 定義 4-21
  - アドレス解決 4-32
- い
- イーサネット OAM 56-21
- CFM との相互作用 56-37
  - イネーブル化 56-22
  - 設定時の注意事項 56-22
  - ディスカバリ 56-20
  - デフォルト設定 56-22
  - テンプレート 56-31
  - プロトコル
    - 定義 56-20
    - モニタ 56-35
  - マネージャ 56-1
  - メッセージ 56-21
  - リモート ループバック 56-21, 56-24
  - リモート障害表示 56-21
  - リンク モニタリング 56-20, 56-26
- イーサネット OAM プロトコルによる CFM への通知 56-37
- イーサネット Operation, Administration, and Maintenance
- イーサネット OAM を参照
- イーサネット インフラストラクチャ 56-1
- イーサネット管理ポート
- およびスイッチ スタック 6-7
  - およびルーティング 6-7
  - およびルーティング プロトコル 6-7
  - サポートされない機能 6-8
  - サポートされる機能 6-8

- 指定 6-9
  - 設定 6-9
  - 説明 1-17, 6-7
    - デフォルト設定 6-7
    - ネットワーク管理用 1-17, 6-7
  - イーサネット管理ポート、使用 6-7
  - イーサネット管理ポート、内部
    - およびルーティングプロトコル 6-7
  - イネーブル
    - 終了 3-25
    - デフォルトの変更 3-25
    - レベルの設定 3-24
    - ログイン 3-25
  - イネーブルモード 2-6
  - インターフェイス
    - イーサネット管理ポートの使用 6-7
    - 概要 6-2
    - カウンタのクリア 6-32
    - 記述名の追加 6-20
    - 再起動 6-33
    - 情報の表示 6-32
    - 設定 6-3
    - 範囲設定 6-5
    - 番号 6-2
    - 命名 6-20
    - メンテナンス 6-32
    - モニタ 6-32
    - レイヤ2 インターフェイスも参照
    - レイヤ2 モード 15-4
  - インターフェイス コンフィギュレーション
    - REP 19-9
  - インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベント
    - 設定 6-34
  - インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベントの設定 6-34
  - インターフェイス上での QoS のイネーブル化またはディセーブル化 35-55
  - インターフェイス上の PIM、イネーブル化 32-15
  - インターフェイスの信頼状態、設定
  - インターフェイスのデフォルト設定へのリセット 6-36
  - インターフェイスの範囲
    - 設定 6-5
  - インテリジェントな電源管理 11-5
  - インラインパワー
    - Cisco IP Phone での設定 36-7
- う**
- ウェブ キャッシュ
    - キャッシュ エンジンを参照
  - ウェブ キャッシュ サービス
    - 説明 53-4
  - ウェブ キャッシング
    - WCCP も参照 53-4
    - ウェブ キャッシュ サービスを参照
  - ウェブ スケーリング 53-1
- え**
- エージング タイム
    - MAC アドレス テーブル 4-22
  - エッジ ポート
    - 説明 17-30
- お**
- 応答側、IP SLA
    - イネーブル化 50-8
    - 説明 50-4
  - 応答時間、IP SLA による測定 50-4
  - オプション 82
    - DHCP スヌーピングのイネーブル化 41-11
  - オペレーティング システム イメージ
    - システム イメージを参照
  - 音声 VLAN
    - IP Phone の音声トラフィック、説明 36-2
    - IP Phone のデータトラフィック、説明 36-3
  - 音声 VLAN ポート
    - 802.1X を使用する 38-19
  - 音声インターフェイス
    - 設定 36-1
  - 音声トラフィック 11-2, 36-7
  - 音声ポート
    - VVID の設定 36-5
  - オンライン診断 52-1
- か**
- 階層型ポリサー、設定 35-50
  - 階層型ポリシー、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-97
  - カウンタ

- MFIB の削除 32-28
  - インターフェイスのクリア 6-32
  - 拡張範囲 VLAN
    - VLAN を参照
  - 仮想 LAN
    - VLAN を参照
  - 仮想コンフィギュレーション レジスタ 54-4
  - カプセル化タイプ 15-4
  - 簡易ネットワーク管理プロトコル
    - SNMP を参照
  - 環境状態
    - Supervisor Engine 6-E 10-3
    - Supervisor Engine II-Plus から V-10GE 10-2
  - 環境のモニタリング
    - CLI コマンドの使用 10-2
  - 管理 VLAN
    - REP、設定 19-8
  - 管理 VLAN、REP 19-8
  - 管理アドレス TLV 26-2
  - 管理オプション
    - SNMP 48-2
  - 管理ポート、イーサネット 6-7
- き**
- キーボードショートカット 2-4
  - ギガビットイーサネット SFP ポート
    - 10 ギガビットイーサネットの配置 6-11
  - 擬似ブリッジ
    - 説明 17-28
  - キャッシュ エンジン 53-1
  - キャッシュ エンジン クラスタ 53-1
  - キャッシュ ファーム
    - キャッシュ エンジン クラスタを参照
  - キューイング 35-6, 35-15
  - キュー制限、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-93
  - 境界ポート
    - 説明 17-30
  - 共有 (帯域幅)、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-88
  - 許可ステートおよび無許可ステートのポート 38-5
- く**
- 組み込み CiscoView
    - インストールおよび設定 4-33
    - 概要 4-33
- 情報の表示 4-36
  - クライアント
    - 802.1X 認証 38-3
  - クライアントの再認証
    - 手動による設定 38-49
    - 定期的なイネーブル化 38-43
  - クラスタリング スイッチ
    - 概要 12-12
    - 管理
      - CLI を使用した 12-14
    - 計画の考慮事項
      - CLI 12-14
      - パスワード 12-8
    - コマンドスイッチの特性 12-12, 12-13
      - VTY 12-13
      - コミュニティへの変換 12-10
    - クラスレベル、サービス ポリシー内の設定 35-93
    - クリティカル認証
      - 802.1X による設定 38-37
    - グローバル コンフィギュレーション モード 2-6
    - クロスチェック、CFM 56-6, 56-11
    - クロック
      - システム クロックを参照
- け**
- ゲートウェイ
    - デフォルト ゲートウェイを参照
  - ゲスト VLAN
    - 802.1X による設定 38-32, 38-42
  - 検出、クラスタ
    - 自動検出を参照
- こ**
- 高速ドロップ
    - 概要 32-11
  - 候補
    - 自動検出 12-7
  - 候補スイッチ、クラスタ
    - 定義 12-13
    - 要件 12-13
  - コマンド
    - b 54-3
    - b flash 54-3
    - confreg 54-4

- dev 54-3
  - dir device 54-3
  - frame 54-7
  - i 54-3
  - meminfo 54-7
  - reset 54-3
  - ROM モニタ 54-2?54-3
  - ROM モニタのデバッグ 54-7
  - SNMP 55-5
  - sysret 54-7
  - ブート 54-3
  - リスト 2-7
  - コマンドスイッチ、クラスタ
    - 要件 12-12
  - コマンドモード 2-6
  - コマンドの省略 2-6
  - コマンドライン処理 2-4
  - コミュニティ VLAN 37-3, 37-4
    - PVLAN としての設定 37-14
    - SPAN 機能 37-12
  - コミュニティストリング
    - 概要 48-4
    - 設定 48-7
  - コミュニティポート 37-4
  - コミュニティへのメンバの追加 12-9
  - 混合モードポート
    - PVLAN の設定 37-16
    - 設定モード 37-23
    - 定義 37-5
  - コンソール コンフィギュレーション モード 2-6
  - コンソールダウンロード 54-6
  - コンソールポート
    - ユーザセッションの切断 7-8
    - ユーザセッションのモニタリング 7-8
  - コントロールプレーン ポリシング
    - CoPP も参照
  - コントロールプロトコル、IP SLA 50-4
  - コンバージェンス
    - REP 19-4
  - コンフィギュレーション ファイル
    - DHCP による入手 3-6
    - TFTP サーバアクセスを限定 48-15
    - システムの連絡先と設置場所の情報 48-15
    - 保存 3-10
  - コンフィギュレーション レジスタ
    - ROM モニタから変更 54-4
    - 起動時の設定 3-29
    - 設定 3-28
    - 設定の変更 3-30?3-31
    - ブート フィールド
      - 値の表示 3-31
      - 変更 3-30
  - コンポーネント管理 TLV 26-3, 26-7
- ## さ
- サーバ、VTP
    - VTP サーバを参照
  - サービス プロバイダー ネットワーク
    - カスタマー VLAN 24-2
  - サービス ポリシーでのクラスレベル キュー制限の設定 35-93
  - サービス ポリシー、クラスレベル キュー制限の設定 35-93
  - サービス品質
    - QoS を参照
  - 再送信回数
    - 802.1X 認証の設定 38-48
  - 再送信時間
    - 802.1X 認証の変更 38-47
  - 最大エージング タイム (STP)
    - 設定 17-21
  - 削除
    - IP マルチキャスト テーブル エントリ 32-28
  - サブドメイン、プライベート VLAN 37-3
- ## し
- シェーピング、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-86
  - 時間帯 4-13
  - しきい値のモニタリング、IP SLA 50-6
  - 時刻
    - NTP およびシステム クロックを参照
  - システム
    - 起動時の設定 3-29
    - 設定の確認 3-11
  - システム MTU
    - 802.1Q トンネリング 24-5
    - 最大許容システム 24-5
  - システム アラーム
    - Supervisor 6-E 10-6
    - Supervisor Engine II-Plus から V-10GE 10-5

- 概要 10-4
- システムイメージ
  - 指定 3-32
  - ブートフィールドの修正 3-29
  - フラッシュメモリからの起動 3-32
- システムクロック
  - NTP も参照
  - 概要 4-2
  - 設定
    - 時間帯 4-13
    - 手動での設定 4-12
    - 夏時間 4-14
    - 日時の表示 4-13
- システムプロンプト、デフォルト設定 4-16
- システムメッセージロギング
  - UNIX Syslog サーバ
    - サポートされるファシリティ 47-13
    - デーモンの設定 47-11
    - ロギングファシリティの設定 47-12
  - イネーブル化 47-5
  - エラーメッセージの重大度の定義 47-9
  - 概要 47-2
  - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 47-8
  - 設定の表示 47-14
  - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 47-8
  - ディセーブル化 47-4
  - デフォルト設定 47-4
  - 表示先装置の設定 47-5
  - ファシリティキーワード、説明 47-13
  - メッセージの形式 47-3
  - メッセージの制限 47-10
  - レベルキーワード、説明 47-10
  - ログメッセージの同期化 47-6
- システムおよびネットワーク統計情報、表示 32-23
- システム機能 TLV 26-2
- システム説明 TLV 26-2
- システム名
  - DNS も参照
  - 手動の設定 4-16
  - デフォルト設定 4-16
- システム名 TLV 26-2
- 自動検出
  - 考慮事項 12-7
- 自動設定 3-2
- 自動ネゴシエーション機能
  - 強制 10/100 Mbps 6-17
- シャットダウン
  - インターフェイス 6-33
- ジャンボフレーム
  - MTU サイズの設定 6-25
  - MTU の概要 6-24
  - VLAN インターフェイス 6-25
  - イーサネットポート 6-25
  - サポートするポートおよびラインカード 6-23
  - サポートの概要 6-24
- 重大度、システムメッセージに定義 47-9
- 集約スイッチ、DHCP スヌーピングのイネーブル化 41-11
- 手動によるプリエンプション、REP、設定 19-13
- 冗長性
  - NSF 対応サポート 9-2
  - NSF 認識サポート 9-2
  - 概要 8-2
  - 冗長コマンド 8-8
  - 設定 8-8
  - 注意事項および制約事項 8-6
    - SNMP による変更 8-12
  - 同期化の概要 8-5
- 冗長性 (NSF) 9-1
  - 設定
    - BGP 9-13
    - CEF 9-12
    - EIGRP 9-18
    - IS-IS 9-15
    - OSPF 9-14
  - ルーティングプロトコル 9-6
- 冗長性 (RPR)
  - 同期化 8-5
  - ルートプロセッサ冗長性 8-3
- 冗長性 (SSO)
  - 冗長コマンド 9-11
  - 同期化 8-5
  - ルートプロセッサ冗長性 8-3
- 消費される PoE の表示 11-11
- 診断
  - Supervisor Engine V-10GE の POST 52-9
  - オンライン 52-1
    - トラブルシューティング 52-2
  - 電源投入時自己診断テスト
    - 概要 52-3



- 機能 52-4
- 障害の原因 52-14
- 侵入検知システム
  - IDS を参照
- 信頼状態
  - 設定 35-57
- 信頼できる時刻源、説明 4-2
  
- す
- スイッチポート
  - アクセスポートを参照
- スイッチ/RADIUS サーバ通信
  - 設定 38-26
- スイッチ間リンク カプセル化方式
  - ISL カプセル化を参照
- スイッチドパケット
  - ACL 43-34
- スイッチのコミュニティ
  - Network Assistant のアクセス モード 12-8
  - クラスタからの変換 12-10
  - 候補の特性 12-7
  - コミュニティ名 12-8
  - 設定情報 12-8
  - 通信プロトコル 12-8
  - デバイスの追加 12-9
  - パスワード 12-8
  - ホスト名 12-8
- スイッチのデフォルトへのリセット 3-34
- スイッチポート
  - show interfaces 6-25, 6-27, 6-34, 6-35
- スイッチング、NetFlow
  - キャッシュ エントリのエクスポート 49-10
  - 収集のイネーブル化 49-8
  - スイッチド IP フローの設定 49-8
  - 設定 (例) 49-14
  - 必要なハードウェアの確認 49-7
- スーパーバイザ エンジン
  - ROM モニタ 3-27
  - 環境のモニタリング 10-2
  - 冗長へのアクセス 8-17
  - 冗長性 9-1
  - スタートアップ コンフィギュレーション 3-27
  - スタティック ルート 3-12
  - スタンバイへのファイルのコピー 8-17
  - 設定 3-9?3-13
  - 設定の同期化 8-12
  - デフォルト ゲートウェイ 3-11
  - デフォルト設定 3-2
- スケジューリング 35-15
  - 概要 35-6
  - 定義 35-5
- スケジューリング、IP SLA 動作 50-5
- スタティック アドレス
  - アドレスを参照
- スタティック ホストの IP ポート セキュリティ
  - PVLAN ホスト ポート上 41-29
  - 概要 41-25
  - レイヤ 2 アクセス ポート上 41-26
- スタティック ルート
  - 確認 3-13
  - 設定 3-12
- スタブルルーティング (EIGRP)
  - 概要 29-15, 29-16
  - 確認 29-20
  - 制約事項 29-20
  - 設定 29-16
  - 設定作業 29-20
  - 利点 29-20
- スティッキ MAC アドレス
  - 設定 39-8
  - 定義 39-5
- スティッキ ラーニング
  - アドレスの保存 39-6
  - イネーブル化 39-6
  - コンフィギュレーション ファイル 39-6
  - 定義 39-6
  - ディセーブル化 39-6
- ストーム制御
  - 概要 45-2
  - ソフトウェアベース、実装 45-3
  - ハードウェアベース、実装 45-2
  - 表示 45-10
  - ブロードキャストのイネーブル化 45-4
  - マルチキャストのイネーブル化 45-6
- ストーム制御の表示 45-10
- ストラタム、NTP 4-3
- スロット番号、説明 6-2

## せ

- 制御パケットのキャプチャ
  - モードの選択 43-13
- 制御パケットのキャプチャのモード、選択 43-13
- セカンダリ VLAN 37-3
  - プライマリとの関連付け 37-15
  - ルーティングの許可 37-22
- セカンダリ エッジ ポート、REP 19-4
- セカンダリ ルート スイッチ 17-14
- セキュリティ
  - IP
    - DoS 攻撃 31-10
    - TCP SYN フラッディング攻撃 31-10
  - 設定 40-1
- 設定可能な Leave タイマー、IGMP 22-4
- 設定時の注意事項
  - CFM 56-8, 57-5
  - REP 19-7
  - SNMP 48-6
  - イーサネット OAM 56-22
- 設定例
  - SNMP 48-16

## そ

- 送信キュー
  - QoS の送信キューを参照
- 送信レート 35-61
- 即時脱退処理
  - IGMP
    - 即時脱退処理を参照
  - イネーブル化 22-8
- 即時脱退、IGMP
  - イネーブル化 23-10
- 速度
  - インターフェイスの設定 6-17
- ソフトウェア
  - アップグレード 8-15
- ソフトウェア QoS、Supervisor Engine 6-E で 35-100
- ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ 3-28
- ソフトウェア スイッチング
  - インターフェイス 30-6
  - 使用する主なデータ構造 32-8
  - 説明 30-5

## た

- ダイナミック ポート VLAN メンバシップ
  - 再確認 13-23, 13-24
  - トラブルシューティング 13-26
  - ホスト上の制限 13-26
  - 例 13-26
- タイマー
  - ログイン タイマーを参照
- タグ付きパケット
  - 802.1Q 24-3
  - レイヤ 2 プロトコル 24-8
- 単一スタティック RP、設定 32-21
- 単一方向イーサネット
  - イネーブル化 28-2
  - 概要 28-2
  - 設定例 28-2
- 単一方向リンク検出 27-1

## ち

- 注意
  - ユニキャスト RPF
    - オプションの BGP 属性 31-5

## て

- ディスカバリ、イーサネット OAM 56-20
- ディセーブル ステート
  - RSTP の比較 (表) 17-27
- ディセーブル化
  - ブロードキャスト ストーム制御 45-8
- データベース エージェント
  - DHCP スヌーピングのイネーブル化 41-13
  - 設定例 41-14
- デバイス検出プロトコル 26-2
- デバッグ コマンド、ROM モニタ 54-7
- デフォルト ゲートウェイ
  - 設定 3-11
  - 設定の確認 3-12
- デフォルト設定
  - 802.1X 38-23
  - Auto-QoS 35-19
  - CFM 56-8
  - DNS 4-17
  - IGMP スヌーピング 23-6, 23-7

IGMP フィルタリング 22-20  
 IP SLA 50-7  
 LLDP 26-4  
 MAC アドレス テーブル 4-22  
 Multi-VRF CE 34-4  
 NTP 4-5  
 REP 19-7  
 RMON 51-4  
 SNMP 48-6  
 SPAN と RSPAN 46-7  
 TACACS+ 3-19  
 イーサネット OAM 56-22  
 インターフェイスのリセット 6-36  
 システム メッセージ ロギング 47-4  
 システム名とプロンプト 4-16  
 バナー 4-19  
 プライベート VLAN 37-12  
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-11  
 デフォルト設定、erase コマンド 3-34  
 デュプレックス モード  
   インターフェイスの設定 6-17  
 電源管理  
   Catalyst 4500 スイッチの電源装置 10-14  
   Catalyst 4500 シリーズ 10-7  
   Catalyst 4948 シリーズ 10-21  
   概要 10-2  
   冗長性 10-7  
   冗長モードの設定 10-12  
   複合モードの設定 10-13  
 電源管理 TLV 26-3, 26-7  
 電源管理モード  
   選択 10-9  
 電源管理モードの選択 10-9  
 電源装置  
   Catalyst 4500 スイッチで利用可能な電力 10-14  
   可変 10-8, 10-21  
   固定 10-7  
 電源投入時自己診断テスト診断 52-3, 52-14  
 転送情報ベース  
   FIB を参照  
 転送遅延時間 (STP)  
   設定 17-22  
 テンプレート、イーサネット OAM 56-31

## と

統計情報  
   802.1X の表示 38-50  
   LLDP 26-8  
   LLDP-MED 26-8  
   NetFlow 課金 49-10  
   PIM の表示 32-28  
   SNMP 出入力 48-18  
 トークンリング  
   サポートされていないメディア 13-5, 13-10  
 独立 VLAN 37-3, 37-4, 37-5  
 独立ポート 37-5  
 都市ロケーション 26-3  
 特権 EXEC モード 2-6  
 ドメイン名  
   DNS 4-17  
 トラップ  
   MAC アドレス通知の設定 4-23  
   MAC 移動通知の設定 4-26  
   MAC しきい値通知の設定 4-27  
   イネーブル化 4-23, 4-26, 4-27, 48-11  
   概要 48-2, 48-5  
   通知の種類 48-11  
   定義 48-4  
   マネージャの設定 48-11  
 トラフィック  
   フラッディングのブロック 44-2  
 トラフィック シューピング 35-17  
 トラフィック マーキング手順のフローチャート 35-82  
 トラフィックの制御  
   ACL の使用 (図) 43-4  
   VLAN マップの使用 (図) 43-5  
 トラブルシューティング  
   Cisco Works を使用 48-5  
   traceroute 7-10  
   システム メッセージ ロギングを使用 47-2  
 トランク  
   802.1Q の制限事項 15-6  
   DTP をサポートしない装置のイネーブル化 15-5  
   アクセス VLAN の設定 15-8  
   インターフェイスのデフォルト設定 15-7  
   概要 15-3  
   カプセル化 15-4  
   許容される VLAN の設定 15-8

- 異なる VTP ドメイン 15-4
  - 設定 15-7
  - ネイティブ VLAN の指定 15-8
  - トランク ポート
    - PVLAN の設定 37-18?37-20
    - ポートセキュリティを設定 39-19
  - トランスレーショナルブリッジ番号 (デフォルト) 13-5
  - トンネリング
    - 定義 24-1
  - トンネル ポート
    - 802.1Q、設定 24-6
    - 説明 24-2
    - 他の機能との互換性 24-5
- な**
- 夏時間 4-14
  - 名前付き IPv6 ACL の設定 43-23
  - 名前付き IPv6 ACL、設定
    - ACL
      - 名前付き IPv6 ACL の設定 43-23
  - 名前付き MAC 拡張 ACL
    - ACL
      - 名前付き MAC 拡張の設定 43-21
  - 名前付き MAC 拡張 ACL の設定 43-21
  - 名前付き集約ポリサー、作成 35-33
- に**
- 二重タグ付きパケット
    - 802.1Q トンネリング 24-2
    - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-10
  - 入力パケット、SPAN 拡張機能 46-14
  - 認可
    - TACACS+ 3-17, 3-22
  - 認証
    - NTP アソシエーション 4-5
    - TACACS+
      - キー 3-19
      - 定義 3-17
      - ログイン 3-20
    - ポートベースの認証も参照
  - 認証サーバ
    - RADIUS サーバ 38-3
    - 定義 38-3
  - 認証失敗 VLAN 割り当て
    - 802.1X による設定 38-41
  - 認証、認可、アカウントिंग 40-1
- ね**
- ネイティブ VLAN
    - 802.1Q トンネリング 24-4
    - 指定 15-8
  - ネイバー オフセット番号、REP 19-4
  - ネットワーク トラフィックのマーキング 35-78
  - ネットワーク トラフィック、マーキング 35-78
  - ネットワーク パフォーマンス、IP SLA による測定 50-3
  - ネットワーク ポリシー TLV 26-3, 26-7
  - ネットワーク管理
    - RMON 51-1
    - SNMP 48-1
    - 設定 25-1
  - ネットワーク耐障害性 1-4, 17-25
- は**
- バーストサイズ 35-34
  - バースト レート 35-61
  - バーチャルプライベート ネットワーク
    - VPN を参照
  - ハードウェア スイッチング 30-5
  - ハードウェアおよびソフトウェア ACL のサポート 43-6
  - パケット
    - ソフトウェア処理
      - QoS 35-17
      - 変更 35-17
  - パケット タイプ フィルタリング
    - SPAN 拡張機能 46-18
    - 概要 46-18
  - パケットのブロック 44-2
  - パスワード
    - 暗号化 3-23
    - イネーブル シークレット パスワードの設定 3-14
    - イネーブル パスワードの設定 3-14
    - イネーブル パスワードを忘れた場合の回復方法 3-26
    - 回線パスワードの設定 3-15

- クラスタ内 12-8
- パスワードに関する注意
  - 暗号化 3-24
- バナー
  - 設定
    - MoTD ログイン 4-19
    - ログイン 4-20
    - デフォルト設定 4-19
    - 表示される場合 4-19
- パワー
  - インライン 36-7
- ひ
- 非 IPv4 トラフィックの一致 CoS
  - 設定 35-38
- 非 RPF トラフィック
  - 冗長構成 (図) 32-11
  - 説明 32-11
- 光デジタル モニタ トランシーバのサポート 6-16
- ヒストリ
  - CLI 2-4
- 非対称リンクと 802.1Q トンネリング 24-4
- 標準範囲 VLAN
  - VLAN を参照
- ふ
- フィルタリング
  - IP 以外のトラフィック 43-21
  - VLAN 43-25
- ブート コマンド 54-3
- ブート フィールド
  - コンフィギュレーション レジスタ、ブート フィールドを参照
- ブートストラップ プログラム
  - ROM モニタを参照
- 不揮発性ランダム アクセス メモリ
  - NVRAM を参照
- 複数動作のスケジューリング、IP SLA 50-5
- 複数ドメイン認証
  - MDA を参照
- 複数の VRF
  - Multi-VRF CE を参照
- 複数の転送パス 1-4, 17-25
- 複製
  - 説明 32-9
- 物理レイヤ 3 インターフェイス、設定 29-14
- プライオリティ
  - 着信フレームの CoS の変更 36-7
- プライオリティ キュー、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-91
- プライベート VLAN
  - DHCP スヌーピングのイネーブル化 41-13
  - SVI 37-10
  - コミュニティ VLAN 37-3, 37-4
  - コミュニティ ポート 37-4
  - 混合モード ポート 37-5
  - サブドメイン 37-3
  - セカンダリ VLAN 37-3
  - 端末アクセス 37-4
  - デフォルト設定 37-12
  - 独立 VLAN 37-3, 37-4, 37-5
  - 独立ポート 37-5
  - トラフィック 37-10
  - 複数のスイッチ 37-5
  - プライマリ VLAN 37-3, 37-5
  - ポート
    - コミュニティ 37-4
    - 混合モード 37-5
    - 独立 37-5
  - ポート セキュリティを設定 39-16
  - 利点 37-3
- プライマリ VLAN 37-3, 37-5
  - PVLAN としての設定 37-14
  - セカンダリ VLAN との関連付け 37-15
- プライマリ エッジ ポート、REP 19-4
- フラグ 32-12
- フラッシュ メモリ
  - システム ソフトウェア イメージのロード 3-32
  - セキュリティ上の注意 3-32
  - ルータの起動元としての設定 3-32
- フラッディングしたトラフィックをブロック 44-2
- プリエンプト遅延時間、REP 19-5
- ブリッジ ID
  - STP、ブリッジ ID を参照
- ブリッジ プライオリティ (STP) 17-20
- ブリッジ プロトコル データ ユニット
  - BPDU を参照
- プルーニング、VTP
  - VTP プルーニングを参照

- フロー制御の設定 6-20
- フロー制御、設定 6-20
- フローチャート、トラフィック マーキング手順 35-82
- ブロードキャスト ストーム制御
  - イネーブル化 45-4
  - ディセーブル化 45-8
- ブロッキング ステート (STP)
  - RSTP の比較 (表) 17-27
- プロトコル タイマー 17-5
  
- へ
- 別の VLAN にあるサーバへのアクセスの拒否 43-31
- ベビー ジャイアント
  - 対話 6-26
- ベビー ジャイアント機能との対話 6-26
  
- ほ
- ポイントツーポイント
  - 802.1X 認証 (図) 38-3, 38-17
- Border Gateway Protocol
  - BGP を参照
- ポート
  - REP 19-6
  - インターフェイスも参照
  - ステータスの確認 7-3
  - ダイナミック VLAN メンバシップ
    - 再確認 13-23, 13-24
    - 例 13-26
  - 転送の再開 44-3
  - ブロック 44-2
- ポート ACL
  - 音声 VLAN 43-5
  - 制限 43-5
  - 定義 43-3
- ポート VLAN ID TLV 26-2
- ポート コスト (STP)
  - 設定 17-18
- ポート ステート
  - 説明 17-6
- ポート セキュリティ
  - 802.1X 認証を使用 39-35
  - 802.1X を使用 38-15
- DHCP と IP ソース ガードを使用 39-34
- QoS 信頼境界 35-27
- RADIUS アカウンティング 38-16
- アクセス ポート上 39-8, 39-25
- 違反 39-6
- エージング 39-5
- 音声ポート上 39-25
- スティッキ ラーニング 39-6
- 設定 39-8
- 他の機能 39-37
- 注意事項および制約事項 39-37
  - トランク ポート上 39-19
    - 注意事項および制約事項 39-16, 39-20, 39-23, 39-35
  - ポート モードの変更 39-24
- 表示 39-30
- プライベート VLAN 上 39-16
  - 混合モード 39-18
  - トポロジ 39-16, 39-20, 39-35
  - ホスト 39-16
  - レイヤ 2 EtherChannel 39-36
- ポート チャネル インターフェイス
  - EtherChannel も参照
  - 概要 21-2
  - 作成 21-7
- ポート プライオリティ
  - MSTI の設定 17-37
  - STP の設定 17-15
- ポート ベースの QoS 機能
  - QoS を参照
- ポート上の Auto-MDIX
  - 概要 6-28
  - 設定 6-29
  - 設定の表示 6-29
- ポート説明 TLV 26-2
- ポートの信頼状態
  - 信頼状態を参照
- ポートベースの認証
  - 802.1X アカウンティングの設定 38-32
  - MAC 認証バイパスによる 38-10
  - MAC 認証バイパスを使用した設定 38-35
  - VLAN 割り当て 38-8
  - WoL を使用した設定 38-40
  - イネーブル化 38-24
  - 音声 VLAN ポートを使用した 802.1X 38-19
  - 開始とメッセージ交換 38-4

- カプセル化 38-3
  - 許可ステートの制御 38-5
  - クライアント、定義 38-3
  - クリティカル認証による 38-12
  - クリティカル認証による設定 38-37
  - ゲスト VLAN に対する設定 38-32, 38-42
  - ゲスト VLAN による 38-9
  - ゲスト VLAN の設定 38-26
  - 再送信回数の設定 38-48
  - 再送信時間の設定 38-47
  - サポートされないポート 38-5
  - 手動によるクライアントの再認証の設定 38-49
  - スイッチ /RADIUS サーバ通信の設定 38-26
  - 設定
    - マルチドメイン認証 38-28
  - 設定時の注意事項 38-23
  - 説明 38-2
  - 装置の役割 38-2
  - 待機時間の変更 38-46
  - 定期的再認証のイネーブル化 38-43
  - デフォルト設定 38-23
  - デフォルト値へのリセット 38-50
  - 統計情報の表示 38-50
  - トポロジ、サポート対象 38-21
  - 認証失敗 VLAN 割り当てを使用した設定 38-41
  - 複数ドメイン認証 38-20
  - 複数ホスト モード、説明 38-7
  - 複数ホストのイネーブル化 38-44
  - 方式リスト 38-24
  - ポートセキュリティ
    - 複数ホスト モード 38-8
    - ポートセキュリティの使用 38-15
    - ホストモード 38-7
  - ホスト
    - ダイナミック ポート上の制限 13-26
    - ホストを静的に設定 22-11
  - ホスト ポート
    - 種類 37-5
  - ホットスワップ
    - OIR を参照
  - ホップ カウント
    - MST ブリッジの設定 17-31
  - ポリサー
    - 種類 35-10
    - 説明 35-5
  - ポリシー
    - QoS ポリシーを参照
  - ポリシー アソシエーション、Supervisor Engine 6-E での QoS 35-99
  - ポリシー マップ
    - インターフェイスへの付加 35-43
    - 設定 35-38
  - ポリシー マップ マーキング アクション、設定 35-83
  - ポリシング
    - QoS ポリシングを参照
    - 実装方法 35-78
  - ポリシング済み DSCP マップ 35-63
- ま**
- マーキング
    - ハードウェア機能 35-83
  - マーキングのサポート、マルチアトリビュート 35-83
  - マクロ
    - SmartPort マクロを参照
  - マッピング
    - DSCP 値から送信キュー 35-59
    - DSCP マークダウン値 35-26
  - マッピング テーブル
    - DSCP の設定 35-62
    - 説明 35-14
  - マルチキャスト
    - IP マルチキャストを参照
  - マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 23-3
  - マルチキャスト グループ
    - スタティックに加入 23-8
  - マルチキャスト ストーム制御
    - WS-X4014 での抑制 45-7
    - WS-X4016 での抑制 45-7
    - WS-X4515、WS-X4014、および WS-X4013+ スーパーバイザ エンジン 45-7
    - WS-X4516 スーパーバイザ エンジン 45-7
    - スーパーバイザ 6-E での抑制 45-6
    - ディセーブル化 45-9
    - マルチキャスト ストームのイネーブル化 45-6
  - マルチキャスト ストーム制御のディセーブル化 45-9
  - マルチキャスト パケット
    - ブロック 44-2

- マルチキャスト ルータ
    - フラッディングの抑制 22-11
  - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタ 23-13
  - マルチキャスト ルータ テーブル
    - 表示 32-24
  - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9
  - マルチキャスト ルータ 検出 23-3
  - マルチドメイン認証
    - 設定 38-28
    - ホスト モードの概要 38-7
- め**
- メッセージ、イーサネット OAM 56-21
  - メッセージ、バナーを介したユーザ 4-19
  - メトロ タグ 24-2
  - メンバ
    - 自動検出 12-7
  - メンバスイッチ
    - 管理 12-14
  - メンバスイッチ、クラスタ
    - 定義 12-12
    - 要件 12-13
- も**
- モジュール
    - ステータスの確認 7-2
    - 電源切断 10-21
  - モジュールで消費される PoE の表示 11-11
  - モニタ
    - ACL 情報 43-42
    - IGMP
      - スヌーピング 23-13
    - IGMP スヌーピング 22-15
    - IGMP フィルタ 22-25
    - Multi-VRF CE 34-13
    - REP 19-15
    - VLAN フィルタ 43-32
    - VLAN マップ 43-32
    - イーサネット CFM 56-17
    - イーサネット OAM 56-35
    - イーサネット OAM プロトコル 56-35
    - スイッチのトラフィック フロー 51-2
    - マルチキャスト ルータ インターフェイス 23-13
    - モニタリング
      - 802.1Q トンネリング 24-15
      - Flex Link 18-13
      - IP SLA 動作 50-15
      - MAC アドレステーブル移動更新 18-13
      - トンネリング 24-15
      - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 24-15
- ゆ**
- ユーザ EXEC モード 2-6
  - ユーザ セッション
    - 切断 7-8
    - モニタ 7-8
  - ユニキャスト
    - IP ユニキャストを参照
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング
    - および CPU パケット 4-30
    - およびスタティック アドレスの追加 4-30
    - およびブロードキャスト MAC アドレス 4-30
    - およびマルチキャスト アドレス 4-30
    - およびルータ MAC アドレス 4-30
    - 設定時の注意事項 4-30
    - 説明 4-30
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの設定 43-20
  - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング、設定 ACL
    - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの設定 43-20
  - ユニキャスト RPF (ユニキャスト Reverse Path Forwarding)
    - BGP 属性
      - 注意 31-5
    - CEF
      - テーブル 31-8
      - 要件 31-2
    - FIB 31-2
    - エンタープライズ ネットワーク (図) 31-6
    - 確認 31-13
      - 失敗 31-4
      - 送信元アドレス 31-4
      - パケット、ドロップ 31-4
    - 実装 31-4
    - 集約ルータ (図) 31-8



- 制約事項
    - 基本 31-9
    - ルーティングの非対称性 31-8
    - ルーティングの非対称性 (図) 31-9
  - セキュリティ ポリシー
    - 攻撃、軽減 31-5
    - 適用 31-5
    - 展開 31-5
    - トンネリング 31-5
  - 設定 31-12
    - BOOTP 31-9
    - DHCP 31-9
    - エンタープライズ ネットワーク (図) 31-6
    - 確認 31-13
    - 作業 31-12
    - 集約ルータ (図) 31-8
    - 前提条件 31-11
    - ルーティング テーブルの要件 31-8
    - (例) 31-16
  - 説明 31-2
  - 前提条件 31-11
  - 送信元アドレス、確認 31-3
    - 失敗 31-4
    - (図) 31-3, 31-4
  - ディセーブル化 31-14
  - 適用 31-5
  - 展開 31-5
  - トラフィック フィルタリング 31-6
  - トンネリング 31-5
  - パケット、ドロップ (図) 31-4
  - メンテナンス 31-14
  - モニタ 31-14
  - ルーティング テーブルの要件 31-8
  - ユニキャスト トラフィック
    - ブロック 44-2
  - ユニキャスト フラッドイング ブロック
    - 設定 44-1
- よ
- 予約範囲 VLAN
    - VLAN を参照
- ら
- ラベル、定義 35-4
- り
- リスニング ステート (STP)
    - RSTP の比較 (表) 17-27
  - リモート ネットワーク モニタリング
    - RMON を参照
  - リモート ループバック、イーサネット OAM 56-21, 56-24
  - リモート障害表示 56-21
  - 略語リスト A-1
  - 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 47-10
  - リンク モニタリング、イーサネット OAM 56-20, 56-26
  - リンクおよびトランク ステータス イベント
    - インターフェイスの設定 6-34
  - リンク完全性、REP による確認 19-3
  - 隣接関係テーブル
    - 説明 30-2
    - 統計情報の表示 30-10
- る
- ルータ ACL
    - VLAN マップとの併用 43-33
    - 説明 43-3
  - ルータ ACL、PACL の VLAN マップとの併用 43-40
  - ルーテッド パケット
    - ACL 43-34
  - ルート ガード
    - MST 17-26
    - イネーブル化 20-3
    - 概要 20-2
  - ルート ターゲット
    - VPN 34-3
  - ルートブリッジ
    - MST での選択 17-25
    - 設定 17-11
  - ルート マップ
    - PBR 33-2
    - 定義 33-4
  - ループ ガード
    - MST 17-26
    - 概要 20-4
    - 設定 20-6

- れ
- レイヤ 2 traceroute
    - 1 ポートに複数のデバイス 7-12
    - ARP 7-12
    - CDP 7-11
    - IP アドレスおよびサブネット 7-12
    - MAC アドレスおよび VLAN 7-12
    - 使用上の注意事項 7-11
    - ホスト間パス 7-11
    - マルチキャストトラフィック 7-12
    - ユニキャストトラフィック 1-25, 7-11
  - レイヤ 2 アクセスポート 15-10
  - レイヤ 2 インターフェイス
    - PVLAN 混合モードポートとしての設定 37-16
    - PVLAN トランクポートとしての設定 37-18
    - PVLAN ホストポートとしての設定 37-17
    - show interfaces コマンド 15-8
    - VLAN の割り当て 13-7
    - 設定 15-7
    - 設定のディセーブル化 15-11
    - デフォルト 15-6
    - モード 15-4
  - レイヤ 3 インターフェイス
    - インターフェイスとしての VLAN 29-9
    - 概要 29-2
      - 物理 29-3
      - 論理 29-2
    - 設定時の注意事項 29-6
  - レイヤ 2 インターフェイス上での VLAN ベース QoS、設定 35-55
  - レイヤ 2 インターフェイス上でのアクセスグループモードの設定 43-38
  - レイヤ 2 インターフェイスのタイプ
    - 設定 37-23
    - リセット 37-23
  - レイヤ 2 インターフェイス、アクセスグループモードの設定 43-38
  - レイヤ 2 スイッチング
    - 概要 15-2
  - レイヤ 2 制御パケット QoS
    - 概要 35-65
    - 機能の相互作用 35-69
    - 使用上の注意事項 35-69
  - レイヤ 2 トランク
    - 概要 15-3
    - 設定 15-7
  - レイヤ 2 フレーム
    - CoS による分類 35-2
  - レイヤ 2 プロトコルトネネリング
    - 注意事項 24-11
    - デフォルト設定 24-11
  - レイヤ 2 プロトコルパケットのシャットダウンしきい値 24-11
  - レイヤ 2 プロトコルパケットのドロップしきい値 24-11
  - レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、概要 29-4
  - レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、設定 29-12
  - レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用 43-24
  - レイヤ 3 インターフェイス、IPv6 ACL の適用 43-24
  - レイヤ 3 パケット
    - 分類方式 35-2
  - レイヤ 4 ポート演算
    - 制約事項 43-16
    - 設定時の注意事項 43-17
  - レポート抑制、IGMP
    - ディセーブル化 23-12
- ろ
- ロードバランシング
    - CEF の設定 30-7
    - EtherChannel の設定 21-14
    - 宛先別 30-7
    - 概要 21-5, 30-6
  - ログメッセージのシーケンス番号 47-8
  - ログメッセージのタイムスタンプ 47-8
  - ログインタイマー
    - 変更 7-7
  - ログインバナー 4-19
  - ログイン認証
    - TACACS+ 3-20
  - ロケーション TLV 26-3, 26-7
  - 論理レイヤ 3 インターフェイス
    - 設定 29-7